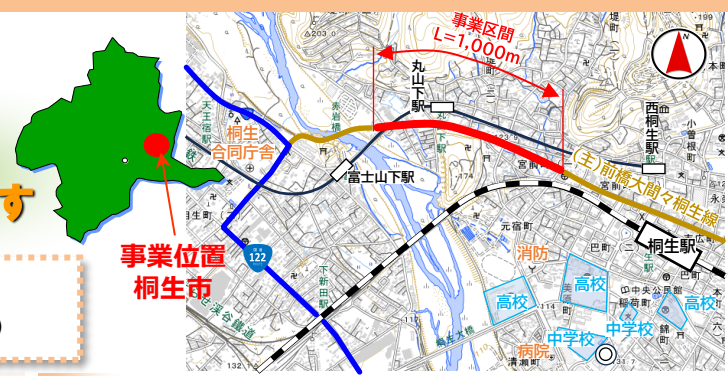


事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

車道や歩道を拡げ、
右折車線をつくります



地元の声

- 市内には自転車を利用する学生が多いが道路が狭く危険を感じる。(地元住民)
- 交差点形状が悪く右折車線が無い場合、事故や渋滞の原因になっているのではないか。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 桐生市宮前町～堤町
- 事業内容: 歩道整備 延長1,000m 幅員3.0m
電線共同溝整備 延長2,000m
- 事業期間: 平成28年度～
- 現在の交通量 : 13,329台/日(自動車)
(令和3年度): 68人/12時間(歩行者)
: 127台/12時間(自転車)

事業前

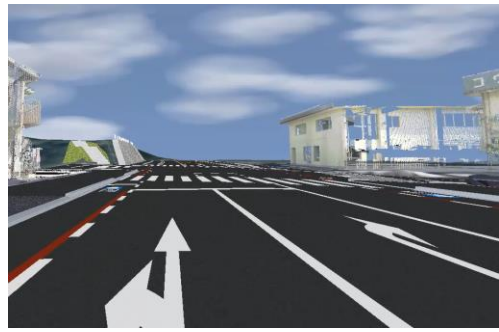
- ◆ 既存の歩道は狭く、歩行者と自転車が混在しており、安全な通行の確保に支障があります。また、交差点には、右折車線がないため、交通渋滞も発生しています。
- ◆ 沿道に電柱が建っているため、歩行者の通行の妨げや、地震時には倒壊のおそれがあります。



事業前の状況

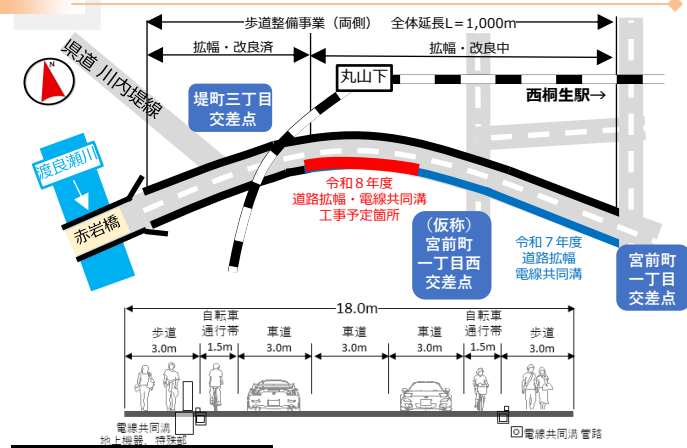
事業後

- ◆ 歩道、自転車通行帯及び右折車線を設置し、歩行者や車両の安全で快適な通行空間を確保します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、引き続き道路拡幅や電線共同溝工事を実施します。



成果を示す項目	実施前
幅員2.0m以上の歩道整備率	32%
電柱倒壊のおそれ	あり
(仮称)宮前町一丁目西交差点の渋滞長	50m

実施後(目標)	
幅員2.0m以上の歩道整備率	100%
電柱倒壊のおそれ	なし
(仮称)宮前町一丁目西交差点の渋滞長	0m